

# 令和六年広島県支部秋季俳句大会成績

日時 令和六年十月三十日

会場 ウェディングひとまちプラザ

田中春生（本部選者）特選

棒稻架の獣めきたる真正面

黒宮 茂樹

月一つ残し踊の果てにけり

岡田真理子

仏吐き続ける空也銀杏散る

柴田南海子

飯野幸雄（広島県支部長）特選

大轍残して刈田暮れにけり

佐々木智枝子

鈴木厚子（広島県支部事務局長）特選

指の先まで鬼になりきる里神楽

村本クニ子

山口美智（広島県支部副支部長）特選

大轍残して刈田暮れにけり

佐々木智枝子

工藤義夫特選

ほほづきをきゆきゆつと鳴らし意地つぱり

大上 充子

石橋康徳特選

干し網の鱗ひかれる十三夜

大上 充子

水口佳子特選

投票の列へ金木犀の風

泉本 剛男

互選高得点句（得点数順）

一位 指の先まで鬼になりきる里神楽

村本クニ子

二位 天幕に旧き村名里神楽

三村 奈七

三位 老漁夫のはがねの皺や鷹渡る

山口 美智